

超感染症社会にむけた「シルクガーデンの対策」

思い合おう！仲間を。

感染症は、いつ何時流行するかわかりません。シルクガーデンでは、万一に備え、どんな状況下でも対応できるよう皆様のご協力をお願いしています。コンセプトは「思いやり」です。まわりの仲間のことを思いやって下さい。

●一人一人の行動指針

(社会の状況を自ら判断し、下記感染拡大期の行動を、いつも忘れずにいましょう！)

①自らの感染リスクを極力減らしてください。

暇だから、やることがないからと、帰省や旅行など、県をまたいでの移動は感染リスクを高めます。また、居酒屋、カラオケ、銭湯、ボーリング、公共交通機関利用、宅飲みなど、3密環境、不特定多数が出入りする場所も感染リスクを高めます。

②他人への感染リスクを根絶ください。

①についての強制はこちらではできませんが、①を経験された方は、最低10日間は、シルク内友人との濃厚接触を、自ら自粛してください。また、共用施設の利用も自粛して下さい。自らの感染はしようがありませんが、他人へ感染させることは、あってはいけません。

③感染しにくい生活習慣を会得してください。

(1)身体的距離の確保 (2)マスクの着用 (3)手洗い を徹底すること。また、(1)早寝早起き (2)三食栄養を摂る (3)適度な運動 と規則正しい生活を心がけ、免疫力を高めて下さい。

④感染疑いのある時は、速やかにPCR検査を！

まず、①を経験された方は、感染を疑って下さい。その上で、微熱、せき、喉の痛み、味覚異常他体調の変化があった場合には、速やかに、医師に相談、保健所に連絡の上、PCR検査をお受け下さい。(055-237-8952)

⑤万一感染の場合、優しく見守って下さい。

もちろん自らの行動で最小限に防ぐことはできますが、感染リスクはどこにでもあります。どんなに気をつけていても感染する可能性はあります。ですから陽性判断がでた際は、自他共に、やさしい気持ちで治癒に励んで下さい。逆に、感染をはっきりさせることが、唯一の感染防止策でもあります。

シルクは60人という大家族です。ここに住む責任を自覚し、行動しましょう。また、シルク内なら、一緒に夕食したり、共用施設も安心できる。そんな状態にしましょう。

●施設側の基本ルール

(感染状況を加味し変化しますが、食堂に関する下記行動は日常化します)

①入室前の手洗い、アルコール消毒、体感検温。

②飲食時以外のマスク着用。

③飲食後のテーブル、皮膜防止アクリル板のアルコール消毒。

④着席は密を避ける

(別紙の通り、感染状況により入室・滞在時間制限をします)

⑤換気へのご協力(30分おきの換気)空気清浄機の使用。

⑥トイレを流す際は、蓋を閉め、飛沫の拡散を防止。

⑦スタッフの検温、マスク着用、テーブル及び調理器具アルコール消毒。

Silk Garden